

街中で考える、里山資源のエネルギー活用

～街・里山を巡る資源の循環、そして交流文化の再生～

有史以来人類が利用し続けて、ほんの 50 年程前まで最も身近で簡易なエネルギー資源であった薪・炭等は、いつの間にか身の周りから消え、街の暮らしとは縁がなくなってしまいました。

そして今、益々深刻となる地球環境課題に対する安全で持続的なエネルギー資源として、あるいは東日本大震災以降の非常時でも安心できる暮らし再生として、あるいは「生の火」の様々な魅力の再発見などより、薪・ペレット・炭等の里山資源の復権が高まっています。

全国各地における地産地消型の再生可能エネルギーとして、あるいは地域力や自治力を高める「里山資本主義」の原動力として、里山資源活用の大きなうねりが起こっています。

今回は、周辺地域の木質バイオマスの資源（薪・ペレット等）の現状を知り、街中での利用技術（ボイラー等）や流通の仕組み（支援方法・ショップ等）を創案する事によって、今にも生きる里山資源のエネルギー活用を再考します。そして、それらの物の循環に伴う流通プロセスでの多様な出会いより、街・里山を巡る多彩な交流文化が再生・創出することをめざします。

日時：2014年2月1日（土） 13:30～16:30頃

会場：玄々化学工業研修センター 会議室

(〒451-0081 名古屋市西区名塚町 1-77)

問合せ：木文化研究所 森 (090-3569-7219 Mail/ymori@yamazato.jp)

講演会

- ・「里山の小さなエネルギーの地域循環の仕組みを考える～木の駅と薪ボイラー」
講師：森 大顕（ひろあき）（NPO 地域再生機構理事）
- ・「木と火のある暮らし～京都の町家で木質バイオマスを商う」
講師：松田 直子（(株)HIBANA 代表取締役）

座談会「街中で考える、里山資源のエネルギー活用」

講師：森大顕（NPO 地域再生機構理事）
松田直子（(株)HIBANA 代表取締役）
進行：森由紀夫（雑木林研究会）

懇親会（講演会と同じ場所、実費負担） 17:00～

講師を囲み、軽い飲食（お茶・ビール・寿司等）しながら、自由参加の交流会

森 大顕（ひろあき）（NPO 地域再生機構理事）

1982年愛知県愛西市生まれ。京都大学農学部森林科学科卒、同大学院農学修士。民間シンクタンクより現職。前職では観光政策の調査・研究及び政策立案に携わる。その後、地域に根ざして山村再生に取り組むことを目指し転職。地域再生機構では主に木質バイオマスのエネルギー利用のための調査・研究、施設へのコンサルティング、地域での仕組みづくりを担当。2011年春より、地域再生機構理事に就任。現在、和歌山大学研究員、木の駅上石津実行委員会幹事。森の仲間たち薪ボイラープロジェクト代表

- ・専門領域 森林・林業、木質バイオマス、観光学、まちづくり
- ・担当プロジェクト 森のなかまたち 薪ボイラープロジェクト、木の駅プロジェクト、木質バイオマスボイラー導入業務

NPO地域再生機構：<http://chiikisaisei.org>

木の駅プロジェクト：<http://kinoeki.org>

講師：松田 直子（(株)HIBANA代表取締役）

立命館大学院政策科学研究科終了。学生時代に熱帯林の活動に関わり、NPO薪く炭くKYOTO（しんくたんく）の活動で森林バイオマス（森林資源のエネルギーとマテリアルとしての利用）の楽しさや可能性を知り、環境計画や地域づくりコンサルティングの仕事に従事した後、2006年に現在の生活にいかにか木質バイオマスを取り入れるかテーマにして株式会社Hibana（ヒバナ）を設立。2010年に「木質ペレット」を使った環境にやさしい暮らしの提案をする場として京都ペレット町家ヒノコをオープン。

(株)Hibana：<http://www.hibana.co.jp/index.html>

京都ペレット町家ヒノコ：<http://www.hibana.co.jp/kyoto-pellet/index.html>